

一般選抜前期（1日目・2日目）

外国語

英語

【出題方針】

本試験は、受験者が実際的かつコミュニケーションを要する場面において、英語をどの程度的確に理解し、適切に応答できるかを評価することを目的としています。これには、多様な文脈において語彙や文法を適切に用いながら意味・意図・ニュアンスを把握する力の測定が含まれます。さらに、本試験では、受験者が自分にとって身近な話題や関心のあるテーマの英文を理解し、英語で明確かつ適切で一貫性のある文章表現ができるかどうかを評価します。これらの課題を通じて、本学は基礎的な言語能力に加え、英語を相互交流や自己表現の手段として活用しようとする柔軟性、自信、そして積極性を備えた学習者を選抜することを目指します。

【高校の学習で大切にしたいこと】

- 英語の4技能（聞く・話す・読む・書く）をバランスよく身につけ、実際のコミュニケーション場面で使われる英語に触れることが大切です。表現の意味や意図、ニュアンスを理解する力を養うことが、実践的な英語力につながります。
- 教科書や授業で扱う内容を着実に学習するとともに、英語を使って要約したり、自分の意見を述べたり、相手の考えに応答したりする活動に積極的に取り組むことが重要です。このことが、学んだ知識を実際のコミュニケーションに応用する力につながります。
- 英語の学習では読む力、聞く力、話す力、書く力を切り離さずに統合的に活用する姿勢が必要です。与えられた情報に基づいて自分の表現と結びつける習慣を身につけることで、一貫性があり、適切な応答を構築できるようになります。
- 文章や図表から必要な情報を読み取り、自分の考えを論理的かつ明確に英語で表現する力を養うことが求められます。身近な話題や関心のあるテーマについて、自信を持って英語で表現する姿勢を育てることが大学での学びにつながります。

【2025年度 出題内容・出題形式・合計得点・試験時間】

出題内容	出題形式	合計得点	試験時間
I. 語彙・文法	マーク式	100点	60分
II. 言語産出	短答式		
III. 長文読解・記述問題	長文記述式		

【出題の意図】

I. 語彙・文法

この問題は、さまざまな領域やコミュニケーションの場面における文法及び語彙（コロケーション、イディオム等を含む）を評価することを目的としています。文章は、対話文、文単位、または 60 語程度までの短い文章などの形式で提示されます。多様な英語テキストを正確に読み取り理解する力に加え、論理的かつ体系的に考える力を測定します。

II. 言語産出

この問題は、コミュニケーションの場面において、文法の知識を適切に活用し、文脈に合った語を補う力を評価するものです。文章は、メール、対話文、アナウンス、手紙などの形式で提示されます。多くの場合、複数の解答が考えられ、そのいずれも正答として認められることがあります。第 1 問が読解における文法・語彙力の評価を中心としているのに対し、このセクションでは、実際に英語を産出しながら問題解決を行う力を重視しています。

III. 長文読解・記述問題

このセクションでは、読解力と言語産出能力の両方を評価します。問題は、約 600 語程度の特集記事、エッセイ、ディスカッションなどの形式の文章を基に作成されています。設問では、文章中の具体的な情報と全体的な意味の理解に加え、文章の異なる部分から情報を統合する力を問います。最後の設問では、長文のテーマに関連した質問に対して、受験者自身の考えを記述することが求められます。回答は、形式的なエッセイである必要はありませんが、与えられた問いに対して自分の考えを一貫して分かりやすく伝える内容であることが重要です。